

全国高校統一応募用紙の見直しについて

1 見直しの背景等

- ・ 厚生労働省履歴書様式例の制定を踏まえた見直しが必要
- ・ 選考と直接関係のない、個人情報等に配慮した見直しが必要
- ・ 現行学習指導要領を踏まえた見直しが必要

など

2 全国統一応募用紙について

- ・ 厚生労働省、文部科学省、全国高等学校校長会協会の3者で協議して決定
- ・ 新規高卒者が就職活動を行う際、就職希望者の全員が必ず統一応募用紙を使用
- ・ 様式は、生徒自身が記入する「履歴書」と、学校関係者が記入する「調査書」の2種類

3 主な見直し内容（詳細は別添を参照）

(1) 履歴書

- ① 性別欄を削除
- ② 学歴・職歴欄を在籍校欄と職歴欄に変更
- ③ 趣味・特技欄を削除
- ④ 志望の動機欄を志望の動機・アピールポイント欄に変更

(2) 調査書

- ① 総合的な探究（学習）の時間に変更
- ② 身体状況欄を削除
- ③ 本人の長所・推薦事由欄を本人のアピールポイント・推薦事由等欄に変更
- ④ 特記事項欄を追加
- ⑤ 押印を削除

4 今後の予定

- ① 労働局を通じた新たな様式の周知 → 令和7年2月以降に実施予定
- ② 使用者団体に対する傘下・会員企業への周知依頼 → 令和7年2月以降に実施予定
- ③ 教育委員会等への周知 → 令和7年2月以降に実施予定

令和7年度
卒業予定者
から適用

ページ 4

統一応募用紙主な変更点（履歴書）

○新たな統一応募用紙（履歴書）（案）

履 歴 書

令和 年 月 日現在

写真をはる位置

(30×40mm)

ふりがな	
氏名	
生年月日	昭和・平成 年 月 日生(満 歳)
ふりがな	〒
現住所	
ふりがな	〒
連絡先※	

「在籍校」欄と「職歴」欄に分離

在籍校※	令和 年 月	高等学校卒業見込み 高等学校卒業
------	--------	---------------------

職歴※	平成 年 月	
	令和 年 月	
	平成 年 月	
	令和 年 月	
	平成 年 月	

※の欄については、記入上の注意事項を確認すること ← 記載内容の変更

罫線追記

(応募書類 その1)

資格等	取得年月	資格等の名称
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
校内外の諸活動※		
	追記	
志望の動機・アピールポイント等※		
	追記	
備考		

全国高等学校統一用紙(文部科学省、厚生労働省、全国高等学校長協会の協議により令和〇年度改定)

○従来の統一応募用紙（履歴書）

履 歴 書

令和 年 月 日現在

削除

写真をはる位置

(30×40mm)

ふりがな		性別
氏名		
生年月日	昭和・平成 年 月 日生(満 歳)	
ふりがな	〒	
現住所		
ふりがな	〒	
連絡先		

(連絡先欄は現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入すること)

「在籍校」欄と「職歴」欄に分離

学歴・職歴	平成 年 月	高等学校入学
	令和 年 月	
	平成 年 月	
	令和 年 月	
	平成 年 月	
	令和 年 月	
	平成 年 月	

(職歴にはいわゆるアルバイトは含まない) ← 記載内容の変更

(応募書類 その1)

資格等	取得年月	資格等の名称
趣味・特技		校内外の諸活動
志望の動機		
	削除	
備考		

全国高等学校統一用紙(文部科学省、厚生労働省、全国高等学校長協会の協議により平成17年度改定)

統一応募用紙主な変更点（調査書）

○新たな統一応募用紙（調査書）（案）

調 査 書

(応募書類 その2)

ふりがな				現住所				
氏名				昭和平成	年	月	日生	
学校名				在学期間	平成	年	月	
課程名	全・定・通	学科名		科	入学	令和	年	
				卒業・卒業見込	平成	年	月	
学 習 の 記 録								
教科・科目				評 定	教科・科目			
教科	科	目		1年	2年	3年	4年	
				修得単位数				
				1年	2年	3年	4年	
総合的な学習(学習)の時間								
留 学								

本人のアドバイザー ポイン 推薦事由等	追記					
	欄の追加					
特別活動の記録						
出席状況	欠席日数	1年	2年	3年	4年	特記事項
	欠席の 主な理由					
記載者						
上記の記載事項に誤りのないことを証明します。						
令和 年 月 日 (所在地) 〒 (学校名) (電話番号) (校長名)						

○従来の統一応募用紙（調査書）

調 査 書

(応募書類 その2)

ふりがな				性別		現住所				
氏名				昭和平成	年	月	日生			
学校名				在学期間	平成	年	月	入学		
課程名	全・定・通	学科名		科	令和	年	月	(第 学年) 編入学・転入学		
				卒業・卒業見込	平成	年	月			
学 習 の 記 録										
教科・科目					評 定	教科・科目				
教科	科	目			1年	2年	3年	4年		
					修得単位数					
					1年	2年	3年	4年		
総合的な学習の時間										
留 学										

本人の長所 推薦事由等	削除					
	削除					
特別活動の記録						
出席状況	欠席日数	1年	2年	3年	4年	備考
	欠席の 主な理由					
身体状況						
身長	cm	視	右 ()	聴	右	検査日・平成 令和 年 月
体重	kg	力	左 ()	力	左	
(視力欄にA~Dが記入されている場合、A:1.0以上、B:1.0未満0.7以上、C:0.7未満0.3以上、D:0.3未満を表す)						
記載者						
上記の記載事項に誤りのないことを証明します。						
令和 年 月 日 (所在地) 〒 (学校名) (電話番号) (校長名)						

全国高等学校統一用紙(文部科学省、厚生労働省、全国高等学校長協会の協議により平成17年度改定)

全国統一応募用紙の記入上の注意事項 変更点対比表

履歴書	新たな注意事項 (案)	従来の注意事項
履歴書	<ol style="list-style-type: none"> 「連絡先」欄は現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入すること。 「在籍校」欄は、卒業見込み、あるいは卒業した高等学校校名を記入すること。 高等学校卒業見込み・高等学校卒業の別の該当事項を○で囲むこと。 「職歴」欄には、いわゆるアルバイトは記入しないこと。 「校内外の諸活動」欄には、部活動、ボランティア活動、インターンシップなどで記入したい事項がある場合に記入すること。 「志望の動機・アピールポイント等」欄には、志望の動機、自己PR、特技等を記入すること。 「備考」欄には、「資格等」、「校内外の諸活動」、「志望の動機・アピールポイント等」以外で記入したい事項がある場合に記入すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 「連絡先」欄は現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入すること。 「学歴・職歴」欄には、いわゆるアルバイトは記入しないこと。 「校内外の諸活動」欄には、部活動、ボランティア活動、インターンシップなど、校外での活動状況で記入したい事項がある場合に記入すること。 「備考」欄には、「資格等」、「趣味・特技」、「校内外での諸活動」、「志望の動機」以外で記入したい事項がある場合に記入すること。
調査書	<ol style="list-style-type: none"> 基本方針 高等学校生徒指導要録等に基づいて作成するものとする。 「課程名」欄については、全日制・定時制・通信制の課程別、「在学期間」欄については、入学・編入学・転入学（編入学及び転入学の場合はその学年を記入）の別及び卒業・卒業見込みの別の該当事項をそれぞれ○で囲むこと。 「学習の記録」欄は、高等学校在学中の全学年について、次のように記入すること。 (1)「教科・科目」欄は、高等学校生徒指導要録に基づいて教科・科目名を記入すること。 (2)「評定」欄は、5、4、3、2、1の5段階で記入すること。また、卒業見込みの者で、最終学年の成績が未決定である場合は、直近における成績を総合して、最終学年の成績とすること。なお、高等学校卒業程度認定試験など、高等学校の各教科・科目の単位を修得したものとみなした場合、「評定」欄に「高等学校卒業程度認定試験等」と記入すること。 (3)「総合的な探究(学習)」欄は、各学年において修得を認定した単位数を記入すること。なお、「総合的な探究(学習)の時間」の全てを「課題研究」等の履修によって代替したことにより、「総合的な探究(学習)の時間」を履修していない生徒については、当該欄に斜線を引くこと。 (4)「留学」欄は、留学した生徒の外国の学校における学習の成果をもとに、校長が修得を認定した単位数を記入すること。 「留学の下の空欄」には、学校教育法施行規則第140条の規定に基づき通級による指導を行い、単位認定を行った場合には、「自立活動」と記入し、各学年において修得を認定した単位数を記入すること。また、同規則第88条の2の規定に基づき特別の教育課程による日本語指導を行い、単位認定を行った場合には、「日本語指導」と記入し、各学年において修得した単位数を記入すること。 「本人のアピールポイント・推薦事由等」欄は、生徒の個性を多面的にとらえ、生徒の長所を取り上げることを基本として記入すること。 「特別活動の記録」欄は、特別活動における生徒の活動状況について主な事実及び特別活動全体を通して見られる生徒の長所など所見を記入すること。 「出席状況」欄は、高等学校生徒指導要録該欄の記載事項を転記するものとするが、卒業見込みの者の最終学年の欄は、直近の学期末現在における出席の状況を記入すること。 (1)休学の期間がある場合 (2)長期欠席中の学校以外の場における学習状況などを把握している場合 (3)職業の特性等において必要な要件として、身体状況(視力及び聴力など)及び配慮事項の記載が求められる場合 (4)押印は不要とする。 	<ol style="list-style-type: none"> 基本方針 高等学校生徒指導要録等に基づいて作成するものとする。 「課程名」欄については、全日制・定時制・通信制の課程別、「在学期間」欄については、入学・編入学・転入学（編入学及び転入学の場合はその学年を記入）の別及び卒業・卒業見込みの別の該当事項をそれぞれ○で囲むこと。 「学習の記録」欄は、高等学校在学中の全学年について、次のように記入すること。 (1)「教科・科目」欄は、高等学校生徒指導要録に基づいて教科・科目名を記入すること。 (2)「評定」欄は、5、4、3、2、1の5段階で記入すること。また、卒業見込みの者で、最終学年の成績が未決定である場合は、直近における成績を総合して、最終学年の成績とすること。なお、大入学資格検定合格科目などを、高等学校の各教科・科目の単位を修得したものとみなした場合は、「評定」欄に「大検等」と記入すること。 (3)「総合的な学習」欄は、各学年において修得を認定した単位数を記入すること。 「留学」欄は、留学した生徒の外国の学校における学習の成果をもとに、校長が修得を認定した単位数を記入すること。